

文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム 「東南アジアの歴史的都市でのまちづくり

—町の自慢を，町の魅力に—」開催要項

開催趣旨

本シンポジウムは、多様な文化特性を持つ東南アジアのまちづくりについて、「歴史的都市を守りながら発展させるまちづくりとは？」をテーマに、各国の専門家が課題と展望を議論するものです。

東南アジアには、人々を魅了する歴史的都市が数多くあります。世界遺産であるフエやホイアン（ベトナム）、ビガン（フィリピン）、ペナンやマラッカ（マレーシア）はもとより、文化遺産を多く抱えるヤンゴン（ミャンマー）などでは、歴史的な建物を保全し、文化観光に役立て、社会の発展につなげようと取り組んでいます。経済開発が一早く進み、社会状況が変化し、人々の価値観が多様化する中では、歴史的都市での魅力を保全しようとする取組は、課題を抱えながら進もうとしています。

住民と行政がともに歴史と文化を尊重した都市開発を目指し、その歴史的環境を受け継いでいくためには、将来の展望を共有し、それを実現するために、関係者が合意を形成し、総合的な計画に反映させることが大切です。住民・行政・専門家の対話を常に行い、相互に理解を得て、協力体制を発展させることも求められます。

このシンポジウムは、ASEAN の国々で歴史的都市保全に取り組んでいる有識者や実務家から話を聞きます。そして、意見を交換し、現状と課題について認識を共有して、今後の相互協力の発展につなげようとするものです。

日時

平成29年10月7日（土）13時～17時30分（開場12時30分～）

途中入退場可

会場

東京国立博物館 平成館大講堂（東京都台東区上野公園13-9）

言語

日本語／英語（同時通訳あり）

定員

300名（事前申込み制）

参加費

無料

申込み方法

文化遺産国際協力コンソーシアム公式サイトフォームよりお申し込みください。

<https://www.jcic-heritage.jp/eventform/>

主催

文化庁，国際交流基金アジアセンター，文化遺産国際協力コンソーシアム
プログラム

13:00-13:05 開会挨拶

石澤良昭(文化遺産国際協力コンソーシアム 会長/上智大学アジア人材養成研究センター 所長)

13:05-13:50 基調講演

「保存とは人々がすべてである：
アジアの都市における歴史的な町並みの保存と持続可能な発展」
ヨハネス・ウイドド(シンガポール国立大学 准教授)

13:50-14:20 講演1

「ジョージ・タウンのリビングヘリテージを持続させるー世界遺産都市の挑戦ー」
クレメント・リャン(ペナン・ヘリテージ・トラスト 評議員)

14:20-14:50 講演2

「持続可能な発展のツールとしてヤンゴンの遺産を保存する」
モーモー・ルウィン(ヤンゴン・ヘリテージ・トラスト 所長/副会長)

14:50-15:05 休憩

15:05-15:35 講演3

「フィリピン・ビガンにおけるまちづくり(調整中)」
エリック・ゼルド(聖トマス大学大学院 CCCPET 所長)

15:35-16:05 講演4

「ホイアンの文化遺産保護と現代社会発展の対立を解決する」
グエン・スー(元ベトナム・ホイアン市人民委員長)

16:05-16:35 講演5

「ホイアン旧市街のまちづくりと日本の国際協力」
友田博通(昭和女子大学国際文化研究所 所長)

16:35-17:20 ディスカッション

司会:大田省一(京都工芸繊維大学 准教授)
パネリスト:講演者全員

17:20-17:30 まとめ・閉会挨拶

上野邦一(奈良女子大学 国際親善教授)

後援

外務省，東京文化財研究所，奈良文化財研究所，国際協力機構，住友財団，三菱財団，トヨタ財団，文化財保護・芸術研究助成財団，ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所，日本ユネスコ協会連盟，国立民族学博物館，日本イコモス国内委員会，NHK，朝日新聞社，産経新聞社，東京新聞，日本経済新聞社，毎日新聞社，読売新

聞社

シンポジウムに関するお問合せ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

東京都台東区上野公園 13-43（東京文化財研究所内）

TEL：03-3823-4841

FAX：03-3823-4027